

第4回私学部会を行いました（1月26日）

第4回インクルーシブ教育学会私学部会を、1月26日（土）18:00~19:40に早稲田大学14号館716教室で行いました。第4回は、メインの話題提供者として麻布中学高等学校の佐久間道則先生をお招きしました。佐久間先生のご実践を紹介して頂き、その後、参加者同士の情報交換を行いました。遠路、名古屋からご参加の先生もいらっしゃるなど、盛会のうちに行われました。（参加者24名）

話題提供（麻布中学高等学校 佐久間道則先生）

長年の議論を経て相談室が設置された経緯と、相談室の活動の概要を、具体的な事例を交えて詳しく説明して頂きました。

《参加者の感想》

『学校の文化とどう刷り合わせながら麻布中高らしい“相談室”の設置をしていった

かの話は、その学校らしくどう相談室を機能させるかを考える良い機会となりました。』

『相談室に、多くの先生をどう巻き込むか、とても勉強になりました。』

『教科教諭を含めた相談室組織がなされており、素晴らしいと思いました。全教員で生徒を支援する体制づくりを目指していけたらと思います。』

『学び方を自己理解するためのアンケートが、とてもよいと思いました。凸凹が普通であることを互いに認識することも1次支援のよいベースづくりになると感じました。』



参加者による情報交換会

佐久間先生に対する質問の後、5グループに分かれて、情報交換会を行いました。今回も、和やかな中にも活発な情報交換・意見交換が行われました。

《参加者の感想》

『学校ごとに全く異なる状況をうかがい、大変勉強になりました。』

『私学ならではの難しさですが、同じく他校でもあることを共有しました。』



私学部会へのお誘い

私学部会では、気軽に参加できる会を継続しながら、私学における特別支援教育の学び合いを継続しております。自助努力に委ねられている私学における特別支援教育を、できるところから一歩ずつ前進させる機会のひとつになればと存じます。

私学部会では、新規のメンバーを随時募集しております。来年度は、事例研究や体制づくり研究も行う予定でおります。ご参加を心よりお待ちしております。担当理事（一ノ瀬）